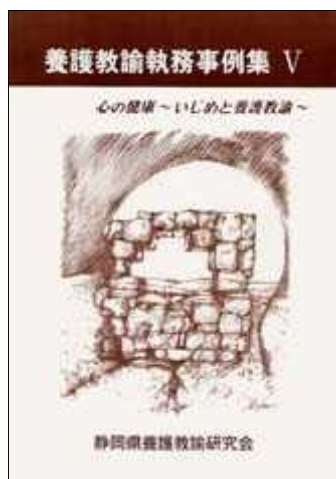




執務事例集Ⅴ 心の健康 ～いじめと養護教諭～ A4版208頁

平成9年12月1日発行

表紙絵 山川誠司 (磐田市立磐田第一中学校教諭)
扉絵 鈴木真知子 (浅羽町立浅羽東小学校養護教諭)

目次

発刊にあたって

静岡県養護教諭研究会会長 三井房子

- I いじめ対策委員会とのかかわり
- II 相談活動
- III 「心の健康」に関する指導
- IV 日常の保健室における活動
- V 学校組織における「心の健康づくり」
- VI 「心の健康」のための啓発活動
- VII 児童生徒が相談しやすい保健室づくり
- VIII 養護教諭がかかわったいじめ問題調査

編集後記

[BACK](#)

発刊にあたって 静岡県養護教諭研究会会長 三井房子

平成5年11月の、社会に衝撃を与えた大河内清輝君のいじめによる自殺以降も、いじめを苦にした自殺が後を絶えません。このような、いじめによる子どもたちの様々な表れは、今日、大きな社会問題となっています。

文部省では、いじめ問題に関する緊急対策措置として、平成8年2月「臨時養護教諭全国会議」を開き、事の重大さと養護教諭の職務の重要性を訴えました。

静岡県養護教諭研究会では、こうした事を踏まえて、平成9年度、初めて「養護教諭がかかわったいじめ問題調査(平成8年度の実態)結果」をまとめました。その結果、いじめ問題に養護教諭がかかわった学校は、小学校では全県下の約1／5、中学校では、約3／5であったことが明らかになりました。また、養護教諭がかかわったいじめ問題のうち、小学校では約9割が、中学校では約8割が「解決・解決の方向」に向かっており、養護教諭のいじめ問題への対応の役割の大きさも明らかとなりました。

今回発刊します「養護教諭執務事例集Ⅴ」は、時の問題を受けて、「心の健康～いじめと養護教諭～」と題し、各学校の実践事例を集め作成しました。

今、心の健康問題への対応に於ける養護教諭への期待は大きく、私たち養護教諭にとっても、職務の重要な課題となっています。それは、今年6月に出された「保健体育審議会 中間のまとめ」においても、「養護教諭の新たな役割として、ヘルスカウンセリングが一層重要な役割を担っている」と示されていることから伺えます。この「事例集Ⅴ」で、紹介した実践を参考にさせていただくことにより、心のより所を求めている子供たちや、心のより所を求めて保健室のドアを押す子供たちに向かい合い、救いの手を差し伸べていくための一助にいただけたら幸いです。

発刊に際しまして、ご多忙の中を実践事例を執筆してくださいました先生方に、厚く御礼申し上げます。

編集後記

今日の急激な社会の変化は、児童・生徒の心や体の健康にさまざまな影響を及ぼし、学校教育の重要な課題となっています。とりわけ「いじめ」「不登校」「いわゆる保健室登校」等の、心の健康に関する問題は、その増加と共に深刻化し、ますます保健室や養護教諭の役割に期待が高まっています。

静岡県養護教諭研究会では、「心の健康～いじめと養護教諭～」と題し、養護教諭執務事例集Ⅴを発行する運びとなりました。この養護教諭執務事例集Ⅴが保健室という場を機能させ、養護教諭の特性とその専門性を生かし、いじめ問題の対応や日々の学校保健活動に大いに活用されることを切に希望します。

編集にあたり、執筆、資料提供等、多くの先生方にご協力を賜りましたことに厚くお礼申し上げると共に、紙面の都合により一部掲載できなかった事例がありましたことを深くお詫び申し上げます。

編集委員

○伊口佳子 長谷川加津子 前嶋寛子 稲川秀子 戸塚豊子 内田礼子 浦野房江 齋藤直子
小山敦子 渡邊初美

制作協力 (株) 静岡教育出版社

[BACK](#)